DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　２２３５

水性ゼッタールEP－2HB

１．塗料名　水性厚膜形エポキシ樹脂ジンクリッチペイント
２．規格　社内規格
３．特徴
１）非危険物であり、安全性が高く環境に優しい。
２）水道水での希釈が可能である。
３）塗装作業性にすぐれている。
４）基材との付着性が良く、長期防錆性にすぐれている。

４．塗料性状

項　　目		内　　容				
容姿		3 液性（2 液性、1 粉末）				
荷姿		22 kgセット （主剤：5 kg、硬化剤：3 kg、亜鉛末：14 kg）				
色相		グレー				
密度 (23℃)	塗料	2.25				
	揮発分	1.00				
加熱残分		78%				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	指触	2 時間	1.5 時間	1 時間	30 分	15 分
	半硬化	4 時間	3.5 時間	3 時間	2 時間	1 時間
標準膜厚		40μｍ				
引火点		ＳＤＳ参照				
発火点		ＳＤＳ参照				
爆発限界（下限~上限）		ＳＤＳ参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

５．塗装基準

項　　目		内　　容				
下地処理		ブラスト ISO-Sa2$^1/_2$(SSPC-SP-10)				
調合法		主剤／硬化剤／亜鉛末 ＝5／3／14（重量比）				
可使時間		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
		6 時間	5 時間	5 時間	3 時間	1.5 時間
温度・湿度制限		温度：5℃以下、湿度：85%RH 以上				
希釈剤		水道水				
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー塗り				
	希釈率(重量)	0～5%				
	標準使用量	240g/m^2				
	標準膜厚	40μｍ				
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	100μｍ				
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	最小	48 時間	20 時間	16 時間	12 時間	10 時間
	最大	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	7日

注）標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

６．施工上の注意

(1)被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2)塗料の混合は、以下の手順にて行うこと。
①主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌して均一な状態にする
②①の混合液を攪拌しながら、亜鉛末を規定の割合で混合し、十分に攪拌して均一な状態にする
③水道水で希釈を行い、十分に攪拌する
混合比率、希釈手順を間違うと塗膜性能を発揮しないばかりか塗膜が硬化しないことがあるので十分注意する。
(3)希釈は水道水を使用すること。
(4)混合した塗料は、可使時間以内に使用すること。
(5)塗装作業を中断する際は、容器にふたをして保管すること。
(6)規定の塗装間隔内で塗り重ねること。規定を経過した場合には塗膜表面を研磨し、ウエスで清掃してから塗装すること。
(7)塗装後の乾燥過程で湿度が上昇するため、送風機による湿気の排出等、作業空間の換気を十分に行うこと
(8) 塗装終了後の使用機具は直ちに水洗する。乾燥した塗膜や、洗浄しきれないものはラッカーシンナー等で洗浄する。
(9)没水部への適用は避けること。
(10)塗料の保管は、雨露、直射日光を避け、気温が 0℃以下にならない場所で行うこと。

７．関連法則

	主剤	硬化剤	亜鉛末
危険物表示	—（非危険物）	—（非危険物）	—（非危険物）
有機溶剤区分	—	—	—
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	—	—	—

ホルムアルデヒド放散等級：Ｆ☆☆☆☆

８．使用上の注意［警告］

(1)安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.10

書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。